

# 景気動向調査

(飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)

令和2年1～6月期

## 調査概要

調査時期	令和2年8月1日～同31日
調査対象時期	(当期) : 令和2年1月～6月 (次期) : 令和2年7月～12月
調査対象企業	一般商工業者90社 (飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)
有効回答率	82.2%
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査内容	①業界景気、自社景況などの実績と次期予測 ②経営上の課題 ③新型コロナウイルスの事業への影響、望む支援など (自由記述)

# 1.【質問1】集計結果

—B.S.1で見る業種別景気動向—

## B.S.Iとは

- 「Business Survey Index（ビジネス・サーベイ・インデックス）」の略で、景況判断指数のひとつ
- 現在の景気水準をはかるDI（ディフュージョン・インデックス）に対して、BSIは前期と現在の景気状況を比較するため、景気の方角性を判断できる
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

計算式：（「上昇：好調の要素」－「下降：不調の要素」）÷2

※最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

# 質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項 目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製(商)品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

## (1) 国内景気について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年1月～6月）	-46.4	-50.0	-50.0	-46.2	-39.5
※前回予測値と当期実績値の比較	-14.5	-15.4	-26.7	-2.7	-13.3
次期予測（令和2年7月～12月）	-45.1	-50.0	-43.8	-42.0	-44.4
※当期実績値と次期予測値の比較	1.3	0.0	6.2	4.2	-4.9

### 【当期実績】

- 飲食業、サービス業が負の最大値であるBSI-50.0を記録。全回答が「悪化」の要素だった
- 卸・小売業、建設業でも国内景気悪化がBSIに表れている

### 【次期予測】

- 飲食業のBSIは当期実績に続き、負の最大値が算出された
- その他の業種でも、当期実績と大きく数値が変わることなく、国内景気は悪化の見通し

## (2) 業界景気について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年1月～6月）	-41.5	-43.3	-50.0	-42.0	-30.6
※前回予測値と当期実績値の比較	-10.3	-1.0	-30.0	1.5	-11.5
次期予測（令和2年7月～12月）	-44.1	-50.0	-40.6	-44.0	-41.7
※当期実績値と次期予測値の比較	-2.6	-6.7	9.4	-2.0	-11.1

### 【当期実績】

- サービス業が負の最大値であるBSI-50.0を記録。予測と実績の比較も-30.0と大きな差が出た
- 業種平均BSIは-41.5を記録。いずれの業種も厳しい状況下におかれている

### 【次期予測】

- 飲食業では負の最大値であるBSI-50.0を記録。他の業種でもBSI-40.0を下回る結果に
- 各業種、いずれの景気状況も大きな低迷が続く見通し

### (3) 売上について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年1月～6月）	-35.8	-43.3	-43.8	-34.0	-22.2
※前回予測値と当期実績値の比較	-13.5	-4.8	-30.5	-3.6	-15.1
次期予測（令和2年7月～12月）	-36.3	-50.0	-40.6	-38.0	-16.7
※当期実績値と次期予測値の比較	-0.5	-6.7	3.2	-4.0	5.5

#### 【当期実績】

- 飲食業、サービス業のBSIは-40.0を下回り、大きな売上低迷が読み取れる
- サービス業の予測と実績の比較が-30.5、建設業も同-15.1と、大きな開きがあった

#### 【次期予測】

- 飲食業では負の最大値であるBSI-50.0を記録。極めて悪化する予測になった
- 建設業は他業種ほどの落ち込みはなく、若干ながら改善傾向に（次期予測値+5.5）



## (4) 営業利益について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年1月～6月）	-35.8	-43.3	-43.8	-42.0	-13.9
※前回予測値と当期実績値の比較	-14.0	-8.7	-33.8	-13.7	0.4
次期予測（令和2年7月～12月）	-36.4	-50.0	-37.5	-36.0	-22.2
※当期実績値と次期予測値の比較	-0.6	-6.7	6.3	6.0	-8.3

### 【当期実績】

- 飲食業、サービス業、卸・小売業のBSIが-40.0を下回る結果に
- 建設業は他三業種のような落ち込みは見られず、予測と実績の比較もあまり変わらない結果に

### 【次期予測】

- 飲食業では負の最大値であるBSI-50.0を記録。さらなる悪化予測になった
- 建設業は落ち込む予測に（前期実績比：-8.3）

## (5) 製(商)品在庫について

(プラス：在庫過少 マイナス：在庫過多)

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績(令和2年1月~6月)	1.4	-10.0	3.1	4.0	8.3
※前回予測値と当期実績値の比較	-2.0	-6.1	-4.6	1.8	0.8
次期予測(令和2年7月~12月)	3.4	-3.3	3.1	8.0	5.6
※当期実績値と次期予測値の比較	2.0	6.7	0.0	4.0	-2.7

### 【当期実績】

- BSIの最大値は建設業の8.3、最小値は飲食業の-10.0と、全業種で中間値の0に近い結果に
- 全業種の予測と実績の比較を見ても、大きな変化は見られない

### 【次期予測】

- 当期実績と比較しても大きな変化は見られない。在庫状況は落ち着いた状況が続く見通し

## (6) 資金繰り

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年1月～6月）	-21.4	-33.3	-37.5	-12.0	-2.8
※前回予測値と当期実績値の比較	-10.9	-6.4	-30.8	-1.1	-5.2
次期予測（令和2年7月～12月）	-18.7	-36.7	-18.8	-8.0	-11.1
※当期実績値と次期予測値の比較	2.7	-3.4	18.7	4.0	-8.3

### 【当期実績】

- 飲食業、サービス業のBSIはそれぞれ-33.3、-37.5を記録し、他二業種より大きく落ち込んだ
- サービス業の予測と実績の比較が-30.8と、他の業種と比べてマイナス幅が大きい

### 【次期予測】

- サービス業はBSI-18.8ながら、当期実績比+18.7と改善の見通し

## (7) 設備投資について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和2年1月～6月）	-7.1	-6.7	-9.4	-4.0	-8.3
※前回予測値と当期実績値の比較	-4.6	1.6	-12.7	-4.0	-3.5
次期予測（令和2年7月～12月）	-10.6	-16.7	-18.8	-4.0	-2.8
※当期実績値と次期予測値の比較	-3.5	-10.0	-9.4	0.0	5.5

### 【当期実績】

- サービス業がBSI-9.4（前期予測値比-12.7）と、他業種に比べてやや落ち込みを見せた
- いずれの業種もBSI-10.0以内であり、負の数値でありながら大きな下落はなかった

### 【次期予測】

- 飲食業、サービス業が数値を落とし、設備投資はやや後ろ向きになる見通し

## 2. 【質問2】 集計結果

—業種別、経営上の課題—

# 質問事項

経営上の課題について、該当するものを3つまで選び、ご記入ください。

合理化・省力化不足

設備・店舗等の老朽化・狭小

原材料・仕入製（商）品高

販売代金・受取条件の悪化

設備過剰

売上・受注の停滞・不振

資金繰り・金融難

人手不足

人件費の増加

過剰在庫

販売価格の値下げ

競争の激化

生産・販売能力の不足

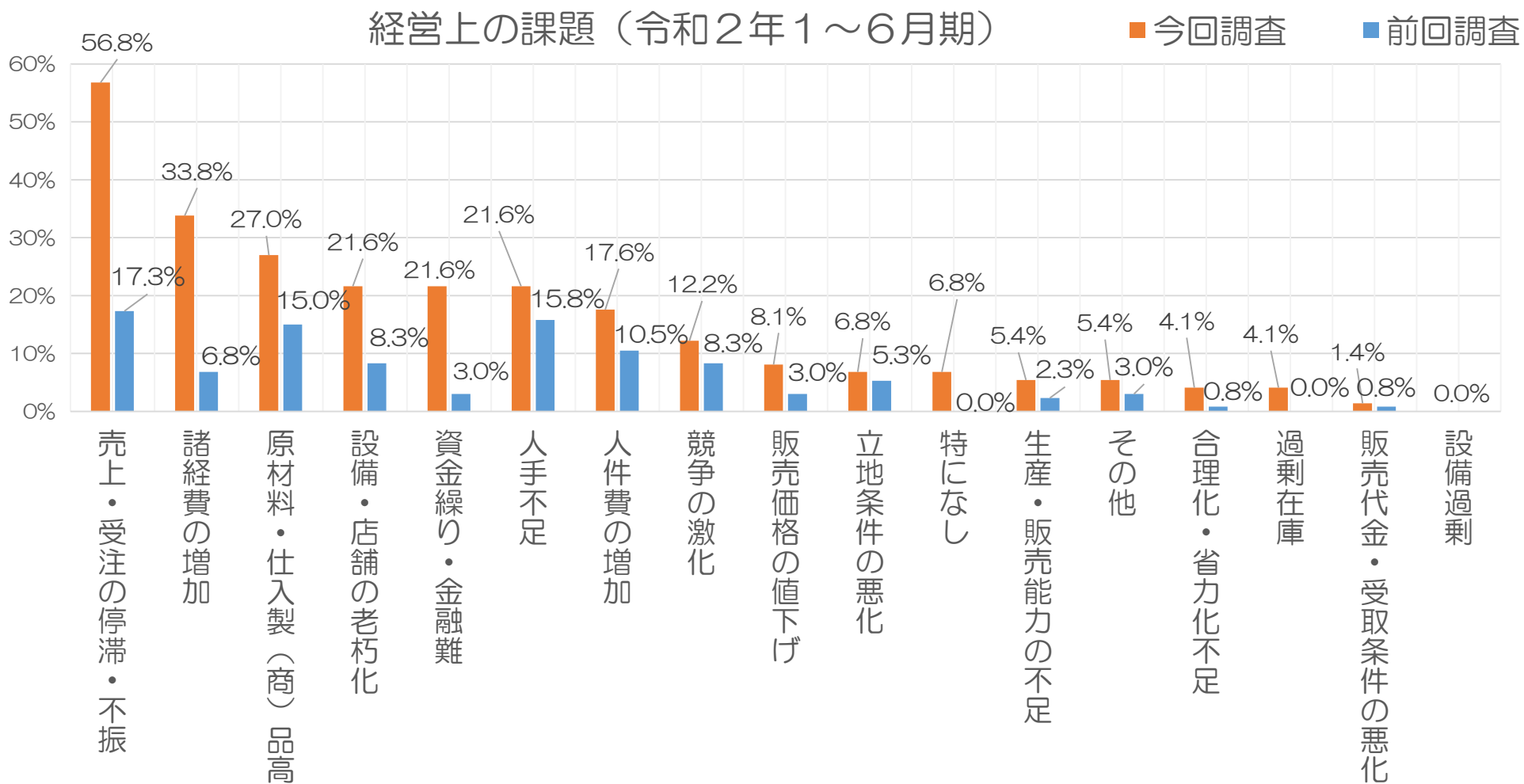
諸経費の増加

立地条件の悪化

その他（ ）

特になし

## (2) -①：全体結果



## (2) ②：業界別結果

※同率のため上位項目に3項目以上カウントしているケースがあります

※前回比欄赤文字表記：前回調査比で増減幅が10%以上

	合理化・省力化不足	設備・店舗の老朽化	原材料・仕入製(商)品高	販売代金・受取条件の悪化	設備過剰	売上・受注の停滞・不振	資金繰り・金融難	人手不足	人件費の増加	過剰在庫	販売価格の値下げ	競争の激化	生産・販売能力の不足	諸経費の増加	立地条件の悪化	その他	特になし
飲食業	6.7%	13.3%	26.7%	6.7%	0.0%	66.7%	40.0%	26.7%	13.3%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	40.0%	13.3%	0.0%	0.0%
※前回比	6.7%	-1.0%	-1.9%	6.7%	0.0%	52.4%	36.4%	12.4%	-1.0%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	32.9%	13.3%	0.0%	-3.6%
サービス業	12.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	56.3%	12.5%	18.8%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	6.3%	25.0%	0.0%	6.3%	6.3%
※前回比	12.5%	2.1%	-2.0%	-2.8%	-2.8%	39.6%	6.9%	10.5%	29.2%	0.0%	0.0%	1.4%	3.5%	11.1%	0.0%	6.3%	3.5%
卸・小売業	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	64.0%	20.0%	8.0%	8.0%	4.0%	12.0%	16.0%	4.0%	44.0%	12.0%	12.0%	4.0%
※前回比	-1.8%	27.3%	21.8%	-1.8%	0.0%	42.2%	18.2%	2.5%	4.4%	2.2%	6.5%	12.4%	2.2%	38.5%	4.7%	6.5%	2.2%
建設業	0.0%	5.6%	27.8%	0.0%	0.0%	38.9%	16.7%	38.9%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	16.7%
※前回比	-1.9%	-4.0%	20.1%	-3.8%	0.0%	27.4%	10.9%	13.9%	3.2%	0.0%	16.7%	9.0%	-3.8%	16.4%	0.0%	-1.9%	14.8%

今回および前回調査時も上位3項目にあったもの

今回調査で上位3項目にあったもの

前回調査で上位3項目にあったもの



### (3) ー①：特記事項（飲食業、サービス業）

#### ＜飲食業＞

- 「売上・受注の停滞・不振」を回答する事業所が66.7%あり、前回は52.4%増と大幅に上昇した
- 「資金繰り・金融難」、「諸経費の増加」も前回は30%以上増加しており、新型コロナウイルスの影響が大きいことがわかる

#### ＜サービス業＞

- 「売上・受注の停滞・不振」を回答する事業所が56.3%を記録、前回は39.6%と大幅増となった
- 「人件費の増加」、「諸経費の増加」の回答率も大幅増となった。特に「人件費の増加」は、他三業種と比較しても突出した数値（37.5%）となっている。

### (3) ー②：特記事項（卸・小売業、建設業）

#### <卸・小売業>

- 「売上・受注の停滞・不振」を回答する事業所が64.0%を記録、同項目で66.7%を記録した飲食業に次ぐ数値となった
- 「設備・店舗の老朽化」、「原材料・仕入製（商）品高」はいずれも40.0%を記録し、他の業種と比較しても突出している

#### <建設業>

- 他の業種同様「売上・受注の停滞・不振」が最も選ばれた回答選択肢となったが、「人手不足」も同率の回答があった
- 「人手不足」は前回調査時（コロナウイルス流行拡大前）から上位項目にある

### 3.【質問3】 寄せられた声

新型コロナウイルス感染症流行拡大による  
事業への影響や、要望する支援

# 自由記述（新型コロナウイルスの事業への影響、要望する支援、他）

## ＜給付金、助成金＞

- 持続化給付金、家賃支援など、市町村独自制度含め様々な給付金制度を継続してほしい（全業種）
- 給付金は給付条件を一定にすることなく、減少幅に応じて支給額を決定するなど段階的な制度にしてほしい（飲食業）
- 助成金などのあらゆる申請書は、簡素化してほしい（サービス業）

## ＜経営＞

- 金融支援の拡充（サービス業、卸・小売業）
- 自粛や休業要請など外的な要因から営業継続が難しくなる可能性があり、見通しが立てづらい  
（飲食業、サービス業、卸・小売業）
- 需要変化の対応に費用がかかる（卸・小売業）
- 地元で経済が回るような仕組構築（建設業）
- キャンペーンなど、支援策の長期展開（飲食業）

## ＜新型コロナウイルスの流行拡大について＞

- 一日も早い流行の収束およびワクチンの開発を  
（飲食業、サービス業）
- PCR検査をもっと手軽なものに。検査体制の拡充がされて、効果的な治療が受けられる環境にならないと、現状は変わらないと思う（卸・小売業）
- 感染防止に対する指導を望む（建設業）
- メリハリをつけた経済再建、感染防止策を。休業措置の際は、補償を考えてほしい（卸・小売業）
- コロナウイルス流行以降、常連客などの来店周期が長くなっている（サービス業）

## ＜社会保障、税制＞

- 社会保険の免除（卸・小売業、建設業）
- 税制面の支援拡充。免除や猶予等（サービス業）
- 課税比重の見直し（卸・小売業）